



土壌・植物活性酵素液 大地の友



有機JAS資材適合製品

植物の生長のカギは、土壌微生物（土着菌）の数と働きにあります。
大地の友は、本来必要な土壌微生物の増殖活性化を促し、肥料および土壌中の栄養素を無駄なく十分に植物に吸収させて、植物の活力アップを図ります。
大地の友の定期的な使用は、健全で良質な土壌と植物の本来の免疫力を高め、病害虫に強く元気に育てます。あらゆる植物に安心してお使い頂けます。
 （本製品は肥料や土壌改良材などの役割りを補完する形で作用するものであり、普通肥料や農薬ではありません。）

大地の友とは

パン酵母由来で複数の酵素活性を有する酵素溶液と、その他のアミノ酸やビタミン・ミネラル、有機酸を含む自然由来の製品です。
 主に土壌改良や発根作用などの促進、根菜類の栽培には本製品のご使用をお奨めしています。

使用方法について

- * 基本は土壌灌水をお奨めしています
- 10a(1反)あたりの標準使用量・希釈倍率

使用方法	標準使用量・希釈倍率の目安
土壌灌水	150ml(100~200ml) ※1
葉面散布	3,000~5,000倍 ※2
煙霧使用	1,000~2,000倍 ※3

【使用頻度の目安】

はじめは1週間に1回の頻度で2~3回ご使用頂き、その後、月に1~2回を目安としてください。

- ※1 原液の設定供給量となります(裏面をご参照ください)
- ※2 葉の表裏や茎、根元にもまんべんなく浸るくらいに葉面散布してください
- ※3 高温加熱式の煙霧機のご使用は避けてください

使用事例



▲上の写真はピーマンを使った生育比較です。同量の肥料を与えて大地の友の有無による生育比較を行った結果、未使用に比べて良好で早い生長が見られました。



◀左の写真は大地の友を定期使用したにんにくの様子です。栽培途中に未使用のものと比較したところ、根の状態に躊躇な差が見られました。



【製造元】
 株式会社 美創技研
 福岡県大牟田市天領町3-10-10
 TEL 0944-57-5324
 FAX 0944-57-5066
 E-mail: biso-kouso@bisougiken.com

【販売元】

【主要な成分の含有量等】 窒素全量0.37%、リン酸全量0.053%、加里全量0.059%

【取り扱い上の注意】

- 希釈の際には、必ず容器に先に水を入れ、その後原液を入れて混ぜてお使い下さい。
- 本品は飲み物ではありません。子どもの手の届かない場所に保管して下さい。
- 40℃以下で直射日光や高温多湿を避けて冷暗所にて保管して下さい。
- うすめた液を長時間おくと変質する恐れがあります。一度うすめた液は2週間以内に使い切って頂く事をお奨め致します。
- 投入直後には一時的に泡の発生が見られますが、時間の経過に従い自然に消滅します。
- 保管条件等によってまれに液の色が変色することがありますが、異臭(アンモニア臭)などがなければ品質に変わりはありません。
- まれに内容物が沈殿する場合がありますが、品質に問題はありません。

大地の友 希釈倍率表

水	希釈倍率				水	希釈倍率			
	1,000倍	2,000倍	3,000倍	5,000倍		1,000倍	2,000倍	3,000倍	5,000倍
1L	1ml	0.5ml	0.3ml	0.2ml	50L	50ml	25ml	16ml	10ml
2L	2ml	1ml	0.6ml	0.4ml	100L	100ml	50ml	33ml	20ml
3L	3ml	1.5ml	1ml	0.6ml	200L	200ml	100ml	66ml	40ml
4L	4ml	2ml	1.3ml	0.8ml	300L	300ml	150ml	100ml	60ml
5L	5ml	2.5ml	1.6ml	1ml	400L	400ml	200ml	133ml	80ml
10L	10ml	5ml	3.3ml	2ml	500L	500ml	250ml	166ml	100ml
20L	20ml	10ml	6.6ml	4ml	1,000L	1,000ml	500ml	333ml	200ml
30L	30ml	15ml	10ml	6ml	2,000L	2,000ml	1,000ml	666ml	400ml
40L	40ml	20ml	13ml	8ml	3,000L	3,000ml	1,500ml	1,000ml	600ml

土壌灌水時の留意点

土壌灌水でご使用頂く場合は、その都度、農作物や時期に適した灌水量を定めて、その水に標準使用量の製品(設定供給量)をうすめてご使用ください。

なお、土壌灌水用ポンプの稼働時間を設定して土壌灌水を行われる場合には、設定時間の50%を経過した頃より、製品を水に溶かして薬液混入器を用いて供給してください。

例1) 10a(1反)あたりに水が500Lであっても、1,000Lであっても製品の標準使用量は150mlとなります。

例2) 10a(1反)のハウスにおいて、土壌灌水用ポンプを10分間稼働させる場合には、残り時間が5分を経過した頃より、製品150mlを水に溶かして薬液混入器を用いて供給してください。

※製品について、ご不明な点等ございましたら、ご使用前にメーカーもしくは販売店にお問い合わせください。